

1. ユーザとしての「JA長野県」のネットワーク構築事例

2. 法人様向けのネットワーク構築技術

- インターネットVPN
- IP - VPN
- 拡張VLANによる広域イーサネット

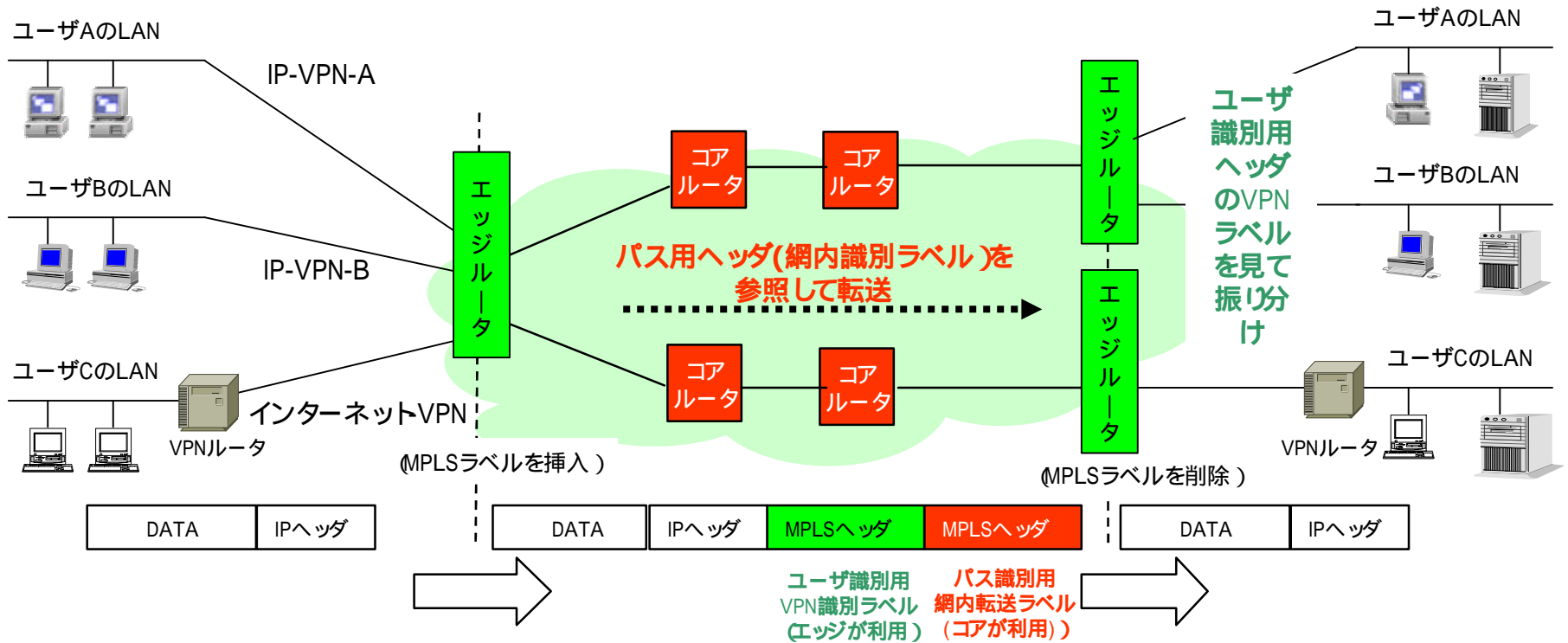
3. JANISネットの法人様向けサービス体系

4. JANISネットによるVPN構築、ソリューション事例

5. JANISネットの内部構造と拡張計画

6. JANISネットの特徴

MPLSによる IP-VPN、インターネットVPNサービス



エッジルータにて、ポートごとにユーザ固有となるVPN識別MPLSヘッダを付加し、
あて先エッジルータまでを、コアルータがパス用識別MPLSヘッダをもとに転送。
あて先エッジルータにてMPLSヘッダを削除して、ユーザ別ポートにデータを渡す。

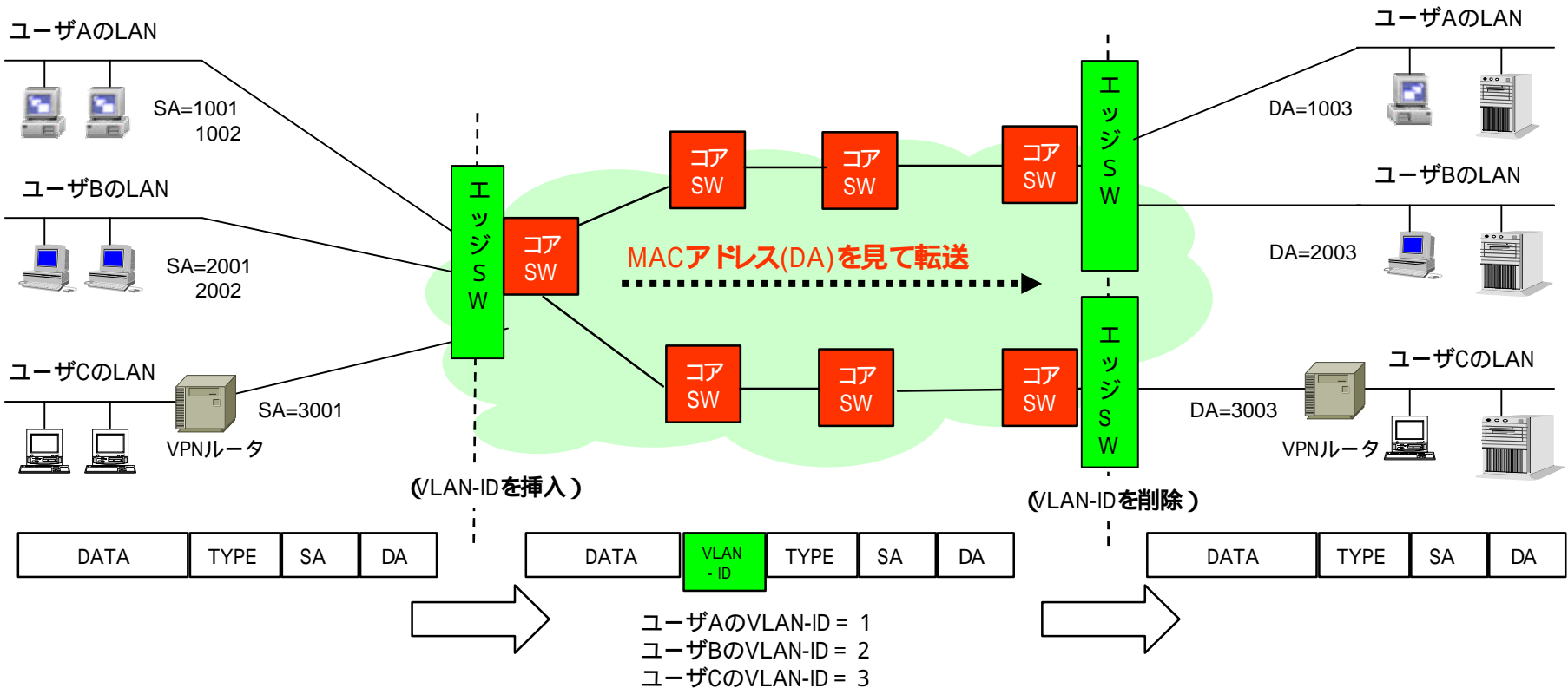
IP-VPN

ユーザA固有のVPN識別番号A,Bを利用し、他のLANやユーザとは完全隔離
IPアドレスは他のLANやユーザとは独立してユーザが任意設定可能

インターネットVPN

JANIS提供のインターネットアドレス体系を使い、他ユーザと混在
必要に応じてIP-SEC機能付VPNルータを自前で設置する形態が多い

拡張VLAN機能による 広域イーサネットサービス(1)



エッジSWにて、ポートごとにユーザ固有のVLAN-idを付加し、目的のDAを収容するエッジSWまで、**MACアドレス管理のARPテーブルを参照して、コアSW間を転送**する。エッジSWにてVLAN-idを削除して、ユーザLANにデータを渡す。

? この広域ネットに接続する全ての機器のMACアドレスを、通信事業者の各SWがARPテーブルで管理

? ユーザ別のVLAN運用をするために、エッジSWにて通信事業者がユーザ毎にVLAN-IDを付加し、異なるユーザ間での通信を防御

? 必要に応じてIP-SEC機能付VPNルータを自前で設置する場合もある

